



講師の中嶋玲子さんの講演にぐっと引き込まれた会場。初めての講座が手話通訳付きで進められました。

支え合い認め合って 乗り切る時代

第1回 福智町男女共同参画講座

福 智町で初めての開催となる「男女共同参画講座」が、1月21日に福智町公民館金田分館で開かれました。講師に前杷木町長で福岡県男女共同参画センター「あすばる」の中嶋玲子館長をお迎えし「支えあい認めあいすてきに生きる」と題した講演が行われました。

「今までは男性が家族を支えてきました。しかし、これからは男性と女性がともに支え合い、認め合わなければやっていけない時代。責任も負担も労働も分かち合わなければ、今後の日本は危ういし、そのことが、個々の幸せな家庭を築くために欠かせない条件になってきます」と、男女共同参画は女性だけでなく、男性のためでもあることを力説しました。

また、講演の前段には、福岡県女性海外研修事業の報告会も行われ、参加した山尾勝子さん(上野)と市川英子さん(伊方)がドイツとスウェーデンにおける男女共同参画の先進事例を発表。参加した約80人は、将来あるべき社会の姿をはじめ、現状と課題に理解を深めた様子でした。



研修内容を発表した山尾勝子さん(上野)と市川英子さん(伊方)



▼明治26年1月4日。この日に、皆川ヨ子さんは生まれました。そして、

114回目の誕生日を迎えて間もない先月29日、ついに長寿世界一の人となった。福智町は、近隣の市町村から大きな注目を浴びながら船出をして、1年になろうとしているが、この間、新聞紙上で報道されることと言えば、暗いニュースばかりで、少々マスコミアレルギーになりかかっていた。そんな矢先の朗報であり、込み上げる歓喜をおさえ切れず、早速、皆川さんが入園している「慶寿園」を訪ねた。まるで、自らの快拳に満足しているかのように、ヨ子さんは、いつにも増して多弁で、お得意の「ほ〜」や「ありがとう」も披露してくれた。もしかしてという思いはあったが、こんなに早く長寿世界一が現実のものになるうとは。本当に嬉しい誤算である。中国の思想家だった莊子は、「過去の失敗を悔やまず、将来の取越し苦労もしないで、今を全力で生きる」という意味の言葉「不将不逆(おくらず、むかえず)」を残している。ヨ子さんは、106歳くらいまで畑仕事に精を出し、少しばかりの日本酒を飲むのが楽しみだったという。過ぎたことを、いつまでもよくよせず、一日一日を明るく大らかに暮らす。これが健康の秘訣だと、ご本人から聞いたことがある。まさに、範とすべし。ヨ子さんの長寿記録の更新を願いつつ、良きお手本としたい。

浦田 弘二